

膀胱留置カテーテルを挿入された方へ

膀胱留置カテーテルとは？

膀胱から直接尿を排出するために、尿道を通して、膀胱に長期間入れておくカテーテルのことです。何らかの理由で尿が排出できなくなった時に留置されます。

在宅でも十分に管理できますが、感染(細菌の侵入)の原因にもなりやすいです。また、尿道を傷つけてしまう原因にもなります。

カテーテルが挿入されている不自由さや不安を乗り越え、正しい観察・ケアをして、気持ちよく生活が送れるようにしましょう！



カテーテル留置中の注意点

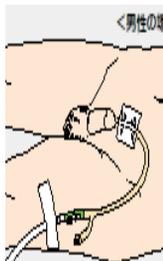
チューブの管理

- ・ チューブが屈曲したり、押しつぶされたり、引っ張られないように注意してください。
- ・ カテーテルを固定する位置は、テープかぶれ防止のため、その都度変えましょう。固定部位は男性と女性では異なります。

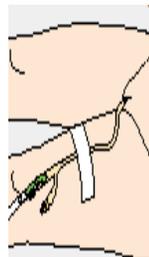
男性: **大腿最上部、下腹部**に固定(大腿に下向きに固定すると陰嚢を圧迫し血流障害を起こす可能性があります)

女性: **大腿内側**に固定。

男性



女性



バッグの管理

- ・ 蓄尿バッグは膀胱より低い位置に保ちましょう。
- ・ **入眠時:** ベッドの方は柵に結ぶなどして下さい。布団の方は段差をつけるためにマットなどを敷き、袋を足元の布団の外に置いて下さい。
- ・ **持ち歩く時:** 袋を紙袋やバッグに入れて持ち歩いて下さい。膀胱より下の位置になるよう、また地面につかないよう注意して下さい。

★蓄尿バッグには**レッグバッグ**というものもあります。足にベルトで固定するので、持ち歩かなくていいですし、他人に気づかれないという利点があります。

※レッグバッグは自己購入になります。



レッグバッグ

- ・ 蓄尿バッグは最低12時間毎に空にしましょう。
（尿量が多い方は回数を増やしてください）
- ★尿を破棄するときもアルコールの入ったウェットティッシュなどで排液口を拭いてください。

感染防止

- ・ 水分をしっかり摂り、尿の停滞を防ぎましょう。尿が流れずお腹が張るときはミルクング(しごく)をしましょう。
 - ・ 摂取した水分量と排尿量は把握しておきましょう。
 - ・ 入浴やシャワー浴をして、陰部を清潔に保ちましょう。
- 蓄尿 バッグを外して入ることができます。

★キャップの付け外しの際は、アルコールの入ったウェットティッシュなどで拭いてください。日中、キャップをして過ごされている方も同じように拭いてください。

定期交換

- ・ 2週間に1回は外来受診をし、カテーテル交換をしましょう。
- ・ 蓄尿バッグは1ヶ月に1回交換しましょう。

いつもと違うことがあれば、病院に連絡・受診してください。

★感染防止のために、キャップの付け外しや尿破棄時に、アルコールの入ったウェットティッシュなどで清拭して下さい。

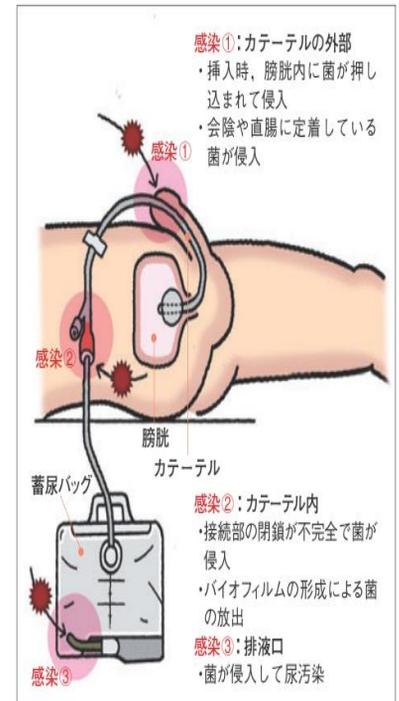


図3 カテーテルの固定方法及び尿路感染発症経路

いつもと違うこととは？

- ・ ミルクングをしても尿が袋に流れずお腹が張っている時
- ・ 尿が流れているが、尿意が我慢できない時
- ・ 血尿が出る時
- ・ 尿混濁が続いたり、熱が続く時

など

このような時は病院に相談してください。